

【事例】 災害対策等緊急事業推進費(災害対策の部)

事業名	雪寒地域道路事業(一般国道360号 ^{キシオク} 岸奥地区雪崩対策)
施行地	^{ギフケンヒダシミヤガワチヨウキシオク} 岐阜県飛騨市宮川町岸奥
内容	一般国道360号の当該箇所は、平成18年7月の梅雨前線豪雨に伴い落石と土砂流出が発生した箇所であり、冬期には雪崩が発生するおそれがある。災害復旧事業と併せて推進費により道路覆工(スノーシェッド工)を実施することにより、落石、土砂流出に対する再度災害防止と併せて、雪崩に対する危険性の回避を図る。

位置図

平面図

災害復旧事業箇所
吹付のり砕工 A=870㎡

推進費要求箇所
道路覆工(スノーシェッド工)
L=36m

被災状況 災害発生後の山腹状況

落石及び土砂の流出により
浸食され新たに形成された
雪崩の危険性のある走路

被災状況 落石状況(H18.7.19)

被災状況 土砂流出状況(H18.7.21)

断面図

吹付のり砕工
A=870㎡

道路覆工(スノーシェッド工)
L=36m

凡 例	
赤	推進費要求箇所
青	当年度施行(当初)
緑	当年度施行(災害復旧)
黒	施行完了
黄	施行予定